

教育委員会定例会会議録

1 日時

平成26年7月23日(水)

開会 9時30分

閉会 9時57分

2 場所

教育委員室

3 出席者及び欠席委員の氏名

出席者 岩崎恭典委員長、前田光久委員、森脇健夫委員、柏木康恵委員

山口千代己教育長

欠席者 なし

4 出席職員

教育長 山口千代己(再掲)

副教育長 信田信行、次長(教職員・施設担当) 福永和伸

次長(学習支援担当) 山口顕、次長(研修担当) 中田雅喜

教育総務課 課長 荒木敏之

教職員課 課長 梅村和弘、班長 岡村芳成、主査 水谷 匡利

保健体育課 課長 阿形克己、指導主事 熊野佳幸、指導主事 増田和史

5 議案件名及び採択の結果

該当なし

6 報告題件名

件 名

報告1 平成27年度三重県公立学校教員採用選考試験第1次選考試験の実施状況について

報告2 第61回東海高等学校総合体育大会の結果及び平成26年度全国高等学校総合体育大会の開催について

報告3 平成26年度三重県中学校総合体育大会の開催について

7 審議の概要

・開会宣言

岩崎恭典委員長が開会を宣告する。

・会議成立の確認

全委員出席により会議が成立したことを確認する。

・**前回審議事項（平成26年7月7日開催）の審議結果の確認**

前回定例会審議結果の内容を確認し、全委員が承認する。

・**議事録署名人の指名**

前田委員を指名し、指名を了承する。

・**会議の公開・非公開の別及び進行の確認**

会議の進行は、公開の報告1から報告3の報告を受ける順番とすることを承認する。

・**審議事項**

報告1 平成27年度三重県公立学校教員採用選考試験第1次選考試験の実施状況について（公開）

（梅村教職員課長説明）

報告1 平成27年度三重県公立学校教員採用選考試験第1次選考試験の実施状況について

平成27年度三重県公立学校教員採用選考試験第1次選考試験の実施状況について、別紙のとおり報告する。平成26年7月23日提出 三重県教育委員会事務局教職員課長。

1ページをご覧ください。今年度の教員採用選考試験の第1次選考試験ですが、先週7月19日土曜日に津市内の県立高校を使用しまして実施させていただきました。その実施状況が下の表のとおりでございまして、左側の平成27年度採用のところを見ていただきますと、今回の受験者が校種別に小学校の974名をはじめとしまして、合計で2,984名の受験がございまして、受験率は申込者数と比べますと90.9%となっております。

昨年度の26年度と比べていただきますと、昨年度も受験率は91.1%で、ほぼ同程度の受験率であったと考えております。

採用見込数は、これまで公表させていただいているとおり、各校種別で合計しますと、約483名になりますので、現時点での倍率は6.2倍となっております。昨年度の26年度採用に比べますと、若干の増となっております。受験者数だけを単純に昨年度と比べますと、108名の減となっております。

2ページが、校種別のさらに教科別の受験者数を一覧表にしたものでございますので、ご確認をいただきたいと思っております。各教科、それぞれこのような受験者数になっておりまして、合計としまして2,984名の受験ということでございます。

3ページが、過去からの主に10年の数字ですが、一番下の合計を見ていただきますと、受験者数は大体3,000名前後で、ほぼ横ばいという実施状況になっております。

1次試験を7月19日に実施させていただきましたので、第1次試験の合格発表を8月7日に予定しておりますので、よろしくお願いたします。

【質疑】

委員長

報告1については、いかがでしょうか。

この10年間で3,000人ぐらいの方が受験をしている状況だということですが、いかがでしょうか、よろしいでしょうか。

前田委員

傾向的に例えば26年27年を見た場合に、1ページ目の一番下の合計のところでは5.2、6.2と上がっているのは、特別な何かの傾向という読みはしなくてもいいわけですか。

教職員課長

こちらは倍率でございますので、合格者数が昨年度は600名ですが、今年度は採用見込数が約483名ということで100名余減っていますので、それで倍率が上がっていると考えています。

委員長

その他、よろしいでしょうか。

それでは、2次試験については、私たちも訪問したいと思っております。

—全委員が本報告を了承する。—

・審議事項

報告2 第61回東海高等学校総合体育大会の結果及び平成26年度全国高等学校総合体育大会の開催について (公開)

(阿形保健体育課長説明)

報告2 第61回東海高等学校総合体育大会の結果及び平成26年度全国高等学校総合体育大会の開催について

第61回東海高等学校総合体育大会の結果及び平成26年度全国高等学校総合体育大会の開催について、別紙のとおり報告する。平成26年7月23日提出 三重県教育委員会事務局 保健体育課長。

1ページをご覧ください。「2 日程」のところをご覧くださいまして、東海高等学校総合体育大会は、本年は愛知県を会場として、平成26年6月21日から22日、水泳競技は、去る7月18日から20日、31競技が開催され、各種目において高校生のはつらつとしたプレーに熱戦が展開されました。

本県からは、1,637名の高校生が参加しました。

続いて、2ページをご覧ください。

2ページは、種目別団体成績一覧です。網掛けの濃い部分が本県の高等学校を示しておりまして、男子は5校が1位になり、女子は3校が1位になりました。昨年と比較しますと、優勝校数は男女共1校それぞれ増です。

3ページから6ページは、個人の成績一覧を示しておりまして、細かな表で恐縮ですが、男子においては、7競技23種目、女子においては2競技4種目が東海チャンピオンとなったところです。

続いて、7ページをご覧ください。こちらは、平成26年度全国高等学校総合体育大会の開催についてでございます。7ページの「4 大会スローガン」について本年は、「君の汗 輝く一滴 勝利の雫」の大会スローガンのもと、平成26年8月1日金曜日から8月20日水曜日までの間、東京都を中心に千葉県、神奈川県、山梨県の南関東4都県で開催されます。本県からは、「5 三重県選手団」でございますが、落合英次三重県高等学校体育連盟会長を団長とし、四日市工業高等学校テニス部 島袋将選手を旗手として、現在のところ、42校から男子277名、女子206名の合計483名が参加する予定です。

なお、先週末に行われました水泳競技においては、東海大会で全国大会への切符を取ったところが競泳で6名、リレー2チーム、水球で四日市中央工業高等学校ということが速報で入っておりますので、その者たちも全国大会に出場することになります。

「6 総合開会式」をご覧ください。総合開会式は、8月1日、東京都調布市にあります「味の素スタジアム」において開催されます。

山口教育長には選手団を激励していただく予定になっております。

9ページをご覧ください。9ページには、競技日程と競技会場一覧を載せております。また、その裏面10ページには、先ほど申しあげました選手団を種目別・学校別の一覧で示してございます。

【質疑】

委員長

報告2については、いかがでしょうか。

確実に陸上なんかは、個人の競技力はアップしていると見ていいんですか。これを見ているとすごく網掛けの部分が陸上競技は目立つような気がします。

保健体育課長

委員長には今、陸上を例に見ていただきましたが、東海総体の結果から見ますと、個人の種目でいきますと、男子は入賞者数が昨年度56名、今年は80名ということで24名増。女子は伸び率が少ないですが、昨年は25名、今年は28名の3名増。個人においてのベスト4以上の入賞者数だけを取り上げてみても、このように増加しておりますし、団体においても、先ほど報告させていただいたように1校ずつ増となっておりますので、手前味噌のような言い方ですが、徐々にその力を子どもたちは付けていただいていますし、各学校の取組が成果を得ていることと思います。

前田委員

東京オリンピック開催の2020年でしたか、そうすると今の高校生あるいはこの子たちは、競技によるかもわかりませんが、そのまま適合年齢ぐらいの人たちではないですか。

何が言いたいかという、そういうことが決まって、こういうことにもっと力点が従来とは違って入っているのか、入れなければいけないのではないかと、毎年やるレベルとはちょっとこれからは力点のあり方が変わってきてもいいんじゃないかと思っております。

保健体育課長

今言っていただいた国の動向としてのオリンピックにも触れていただいて、県の動向としてのかねてからのご案内の30年のインターハイであったり、33年の国体を見据えていきますと、今現在、活躍している子どもたちが、インターハイでは対象にはなりません、オリンピック、国体といったところに活躍の場を期待するところです。そういったところへの県教育委員会としての注力の仕方とか、スポーツ推進局との注力の仕方を連携しながら進めていきたいと思っています。

なお、そういったところから1つの話題でいくと、先ほどのご質問で陸上のお話をいただきましたが、三重県でも現在、高校生の陸上の走り幅跳びでは、これは私立学校ですが、高田高校の松岡君が幅跳びで世界ユース大会へ出場したり、あるいは、インターハイの種目にはございませんが、過日の教育委員会定例会でも結果報告をさせていただいたように、選抜大会でウエイトリフティング女子の選手が優勝しております。その子などはナショナルトレーニングセンターなどに招聘されての活躍しておりますし、今までにない注力の仕方も積極的に考えていきたいと思っております。

委員長

よろしいですか。

いずれにせよ、高校総体のほうは山口教育長が激励に行っていただけるということで、なお一層の活躍を祈っております。

—全委員が本報告を了承する。—

・審議事項

報告3 平成26年度三重県中学校総合体育大会の開催について（公開）

（阿形保健体育課長説明）

報告3 平成26年度三重県中学校総合体育大会の開催について

平成26年度三重県中学校総合体育大会の開催について、別紙のとおり報告する。
平成26年7月23日提出 三重県教育委員会事務局 保健体育課長。

1ページをご覧ください。加えまして、お手元にご置きます紫色のプログラム、7ページをお開きいただきまして、本大会は、平成26年7月26日土曜日から7月31日木曜日の期間に、16競技が県内各中学校から約7,000名の代表者によって開催される競技でございます。各種目別開催期日の会場詳細については、先ほど申しました要項の7ページをご覧くださいの一覧のところに示しております。

1ページの「6 参加校」に戻りまして、参加校は、この県総体の各地区の予選を勝ち抜いた者で、（1）各地区の代表、（2）その種目が開催される開催地からのチーム、（3）地域を指定した地区代表、いわゆる「ブロック代表」と申し上げております。そして、前年度優勝地区からの1チームというところから、原則16チームで各種目を展開しているところです。本大会の上位の成績を収めた学校及び個人は、8月6日から8月10日の期間に、岐阜県で開催されます東海中学校総合大会の出場権を得て、その後、その成果によっては、8月17日以降ございます四国ブロックの全国中学校体育大会に出場することとなっております。

なお、この大会の集計本部は、名張市立赤目中学校三重県中学校体育連盟事務局において記録集計等に対応する予定でございます。

【質疑】

委員長

報告3についてですが、いかがでしょうか。

さっきのオリンピック、国体の話から言うと、ここがまさに中核になってくるんでしょうか。

保健体育課長

三重県の実情でいきますと、先ほどからご案内のインターハイ、30年の三重大会などは、この中学2年生が高校3年生となるところです。

柏木委員

中学校と高校と両方見せてもらって、競技名の数が中学校は少ないんですね。なので、もっと発掘するために中学校の何か力を入れるような、今後、高校でもいろいろ力を入れてきますね。それを中学校でもそういう形で、市町ということでワンクッションあるかもしれないですが、市町に働きかけて、この間の国体の間に市町で手を挙げた競技がありますね。そういうところに中学校でもそこに力を入れていくということをして市町の教育委員会にも働きかけて、若い子どもたちの力を発掘することもしてみたらどうなのかと思うので、よろしくお願いします。

保健体育課長

ご覧いただきました7ページの一覧表にある十数競技と、先ほどから提出しております報告2の最後のページの種目を見ると歴然としていますが、このあたりは中体連で所管する種目という範囲の部分と認識していただければありがたいと思います。7ページの種目などは、スポーツ競技団体と共同して市町の関係、あるいは、今、例示をいただいた国体の会場地に内定しているところでは、早速、その中での少年の教室を開いたりという動きを、2階のスポーツ推進局ではしていただいているところです。それは県体協との連携の中で、また、その中で県教育委員会の役割もしっかりと認識しながら取り組んでいきたいと思っております。

森脇委員

これは今日の報告とは直接関係ないんですが、裾野を広げるというか、そういう意味でお尋ねしたいのですが、全国学力・学習状況調査と同じように、体力調査みたいなこともやられていると思うんですけど、あまり三重県は芳しくないという話も聞いているんですが、そうした裾野を広げるためのある種の施策ということについては、どんなことを今おやりになっているのか、あるいは、今後考えていらっしゃるのか。その辺を聞きたいと思っています。

保健体育課長

全国体力調査の一つの指標としながら、子どもたちの体力向上ということでお話しさせていただければと思います。

かねてからそういったことへの注目をしながら動いてはおりますが、特に昨年度より、「子どもの体力向上推進事業」というものを立ち上げまして、その中でもただ単

に体を動かすことは、体を動かして体育の授業が好きになるとか、いろんな運動をする機会に触れるということ、教員の研修であったり、その啓発の部分では触れてはおります。また加えて、生活習慣、食習慣など、生活全体についての見直しも着目しながら、食育の観点から各市町に呼びかけていたり、あるいは、1つの例でいいますと、朝食メニューコンクールを開催し、小学校・中学校を対象にし、朝食をとることで生活習慣を整えて、体力向上に結びつける。こういったことは、お話いただいた体力調査の中での、朝食をとっている子どもたちの体力の平均値はとらない子どもたちより高いという数値がきちっと質問紙の中から出てきていますので、そういった取組もしていきます。

また、目玉的な話をさせていただきますと、去年は小学校の先生や学校の先生方に体育の授業を苦手とする、あるいは、今、旬な種目、去年はダンスをやって、ちょうどタイムリーにEXILE USAさんが来県いただいての講習会をし、先生方の指導力や授業の導入の取っ掛かりをしてみました。

そして、本年のそのプランは、体操の領域でそれをマット運動でやってみたいと思っております。

少し話は長くなりますが、体力調査の件については、かねてからこの場でも話題になっております各小学校・中学校で継続してそういったものを取り組んで、子どもたちの成長を見取ってカルテを作り、そして、その取組の参考にしていくという取組をさせていただいております。

前田委員

高校総体も中学総体もゴルフが入っていないですが、オリンピック競技に2020年は入っていたと思うんですが、三重県の高校のゴルフ部があるところはあるんでしょうか。

保健体育課長

ゴルフを部活動として行っている高校はあります。

この高校総体の一部にはゴルフはありませんが、ゴルフの高校選手権というのはございますので、そういったところに取り組んで参加をしています。

前田委員

いずれは、こういう中に組み込まれる、別扱いになるんですかね。

保健体育課長

そのあたりは私が答えられる範囲ではないと思いますが、全国高等学校体育連盟の中で、かねてから部活動としてある1つの考え方と、そういったゴルフといういろんな背景の部分で支えられるところがあるところは、そこで自立していける団体かと思っています。全国に向けてのいろんな取組、少年の取組は、いずれの種目もしっかりとやっていたいただいているところです。

前田委員

今、すごく盛んですね。小さい子どもからのゴルフの世界大会までありますね。

委員長

では、中学校の総体、ぜひメイン選手として頑張ってもらわないかんですから、頑張してほしいなと思います。

—全委員が本報告を了承する。—